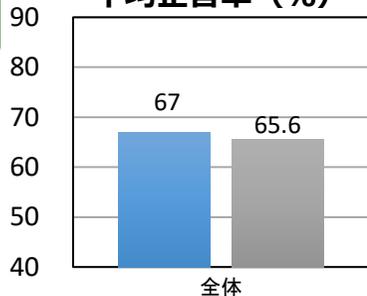
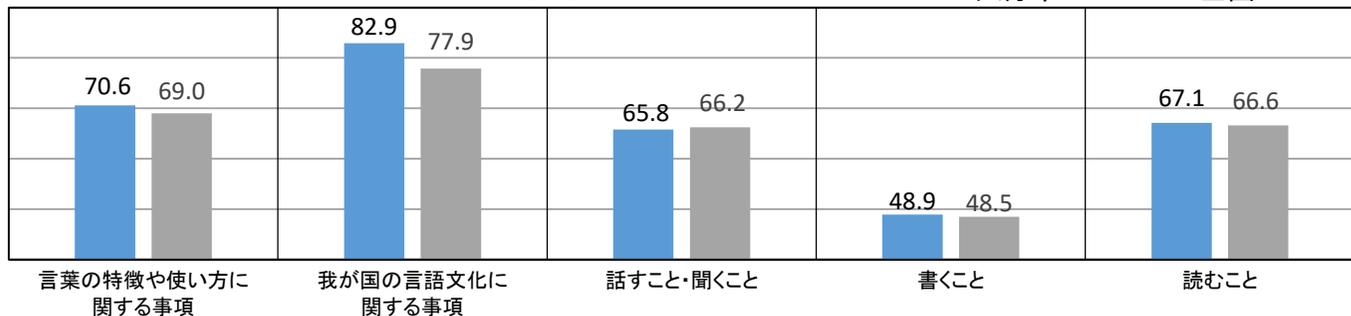


調査結果

平均正答率（％）



学習指導要領の領域等の平均正答率（％）



分析Ⅰ
話すこと・聞くこと 本調査問題1・4

互いの立場や意図を明確にしなが計画的に話し合い、自分の考えをまとめることに課題が見られる。

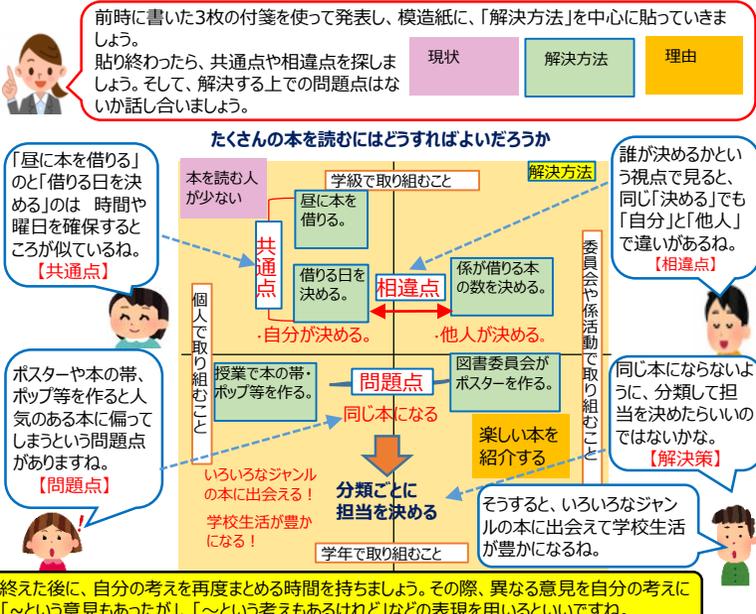
◆考察◆

話し合いを通して自分の考えをまとめる際には、立場や考え方が異なる人同士で話し合い、様々な視点から検討し、互いの意見の共通点や相違点、利点や問題点等をまとめさせることが大切である。指導に当たっては、付箋等を活用した話し合いを行い、互いの意見を整理させ、自分の考えに生かせるようにすることが必要である。

授業アイデア例

単元名 よりよい学校生活のために（光村図書5年）

- 第一次
- 単元の見直しをもつ。
 - 学校生活の中から議題を決める。（例）・本を読む人が少ない。・挨拶ができていない。
- 第二次
- 自分の立場を明確にする。【3枚の付箋】（現状・解決方法・理由）
 - 話し合いの仕方を確かめ、進行計画を立てる。（司会・進行役等の役割を決める）
 - 計画に沿って、グループで話し合い、自分の考えをまとめる。（共通点や相違点、利点や問題点を明確にしておく）（本時）
- 第三次
- 話し合いの中でよいと思ったことを伝える。



分析Ⅱ
書くこと 本調査問題3・2

文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることに課題が見られる。

◆考察◆

自分の文章のよいところを見付ける学習では、目的や意図に応じた文章の構成や展開が明確になっているかなどの観点を持たせることが大切である。指導に当たっては、互いの書いた文章を読み合い、文章の構成や理由や根拠、予想される反論についての考え等に注目させ、具体的に感想や意見を述べ合うことが必要である。

授業アイデア例

単元名 あなたは どう考える（光村図書5年下）

- 第一次
- 単元の見直しをもつ。
 - 意見文の題材を決める。
- 第二次
- 「読み手が納得する意見文」を書く。（双括型）
 - 教科書の2つの例文から意見文を書く時の工夫を見つける。（文章の構成や展開）
 - 読み手が納得する主張の理由や根拠を考える。（理由・根拠：自分の体験・見聞き・引用・アンケート・インタビュー等）
 - 自分の意見文の構成表（ピラミッドチャート）を作る。（予想される反論とそれに対する答え）
 - 下書きをして、見直しをする。
- 第三次
- 読み合って、感想や意見を伝える。（本時）

